

# 24 藤川学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成28年	6,685人	2,956世帯	22.1%	11.3%
令和3年	7,101人	3,287世帯	24.7%	11.8%

資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

## (2) これまでの取組

	第3次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R1	R2
1	高齢者支援のさらなる充実	高齢者の移動手段として、買い物バスの維持	-	-	
		一人暮らし高齢者、高齢夫婦世帯の見守り訪問の充実	-	-	
		集いの場の充実	-	-	
2	支援を必要とする世帯の把握と子育て支援の充実	支援を必要としている家庭の実態把握	-	-	
		子育てを終えた方の協力を得て、幼児を持つ母親と幼児の交流の場をつくる	-	-	
		親子で参加する地域活動の実施	-	-	
		登下校見回りの日をつくる	-	-	
3	活動のPRなど、学区福祉委員会活動のさらなる強化	敬老会や夏祭り等の行事を通じた福祉活動のPRの強化	-	-	
		活動リーダーの養成	-	-	
		福祉委員会と社教委員会福祉部会との役割の整理	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

藤川学区のめざす姿

## 学区民はみんな家族 思いやりと絆のまち“ふじかわ”

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	買い物バスを継続する仕組みができる	外出支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>買い物バス（月3回から月4回へ）</li> <li>・感染症対策を講じて定員を戻す</li> <li>・バスがサロンの役割を果たしている</li> </ul>	1
		サロン	<ul style="list-style-type: none"> <li>子育てサロン（年2回）</li> <li>・民生委員中心による活動</li> <li>-----</li> <li>ごまんぞく体操（週1回、4か所）</li> <li>-----</li> <li>健康体操（月1回、2か所）</li> <li>・感染症対策を講じて再開</li> <li>・むらさきかん・蓑岡地縁会館・荒古公民館・箕川一区公民館で開催</li> </ul>	2
2	支援を必要とする人を把握し、安心して過ごせる地域になる	防犯・防災	<ul style="list-style-type: none"> <li>救急医療情報キットの作成・配布</li> <li>・対象者の見直し</li> <li>・配布した世帯について、定期的な情報更新</li> <li>-----</li> <li>安全パトロール（町ごとで実施）</li> <li>・感染症対策を講じて活動を再開</li> <li>-----</li> <li>防災訓練（学区で年1回、町ごとで年1回）</li> <li>・感染症対策を講じて活動を再開</li> </ul>	2
		見守り	<ul style="list-style-type: none"> <li>ひとり暮らし高齢者の訪問（年3回）</li> <li>・総代と民生委員で活動</li> <li>-----</li> <li>登下校時の見守り（毎日）</li> </ul>	2
3	福祉委員会の認知度up	広報・啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>おたよりの発行（年1回回覧）</li> <li>・福祉委員会活動の周知のため広報活動に注力</li> <li>・買い物バスや行事、イベントの情報等、写真を交えて掲載</li> </ul>	3

# 25 山中学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	4,697 人	1,848 世帯	27.8%	14.1%
令和 3 年	4,461 人	1,881 世帯	30.5%	13.0%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援を必要とする世帯の把握と子育て支援の充実	組単位での把握の強化			
		支援拒否者へのアプローチの検討		-	
2	新たな福祉課題を抱える人（ニート・引きこもり・生活困難など）の把握と支援の方法についての理解	家族からの S O S や特殊なサインが出ているときの対応の検討		-	
		学習会等での理解の促進		-	
		民生委員を中心に状況把握を行う		-	
		家族への支援の実施		-	
3	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	声かけ、あいさつ運動			
		学区全体の情報の共有		-	
		警察との連携		-	
4	福祉委員活動の充実	福祉委員会の役割の明確化		-	
		福祉委員の相談先の明確化		-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

山中学区のめざす姿

## みんなが住みよい 安心・安全な山中学区

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	福祉活動に若い人の参加（担い手・参加者）が増え活動が活発になる	見守り	激励訪問（年5回） ・高齢者2人世帯の追加等の対象者の見直し ・実態調査の実施を検討 ----- 登下校の見守り（毎日） ・ユニホーム等の工夫や「ながら見守り」の検討 ・担い手の確保	1 ・ 4
2	移動手段が確保され、安心して活動に参加できる	交流	羽栗サロン活動（月1回） ・担い手の確保 ----- お茶会（年2回） ・担い手の確保 ----- ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回） ----- 子育てサロン（年6回） ----- 世代間交流 ・盆踊り・歩け歩け大会・ファミリースポーツ大会	1 ・ 2 ・ 5
3	適切に情報が共有できている	介護予防・体操	ふれあい健康部（月1回） ・男性の参加者を増やす ----- ごまんぞく体操 ・担い手の増加 ----- ラジオ体操 ・担い手の確保、開催場所の検討 ----- グラウンドゴルフ	1 ・ 2 ・ 5
4	安心安全な地域になる	広報・研修	研修会 ・地元企業や地域包括支援センターに相談、講師依頼 ----- 福祉だよりの発行（年3回） ・福祉委員会の活動報告 ----- ホームページ「おじぎ草」（周知）	1 ・ 3
5	国籍に関わらず誰もが地域の行事に参加している	防災・防犯	安全パトロール（月1回） ----- 防犯カメラ・ベル、防犯灯の設置 ・要望に応じて随時設置を検討 ----- 防災訓練（年1回） ・中学生の参加促進 ----- 災害時避難行動要支援者名簿の整理 ----- 青色防犯パトロール（月15回、学区内4台）	1 ・ 4 ・ 5

# 26 本宿学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	6,667 人	2,655 世帯	29.7%	13.1%
令和 3 年	6,351 人	2,722 世帯	33.2%	11.6%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	高齢者訪問への近隣の人や組長などの同行	-	-	
		家に閉じこもってしまいがちな人の「いきいき活動」への積極的な勧誘	-	-	
		まちづくり協議会と連携し、高齢者向けスポーツクラブの誘致	-	-	
2	支援を必要とする世帯の把握と子育て支援の充実	若いお母さんの悩みを相談できる場の増加	-	-	
		世代間交流の充実	-	-	
		町が実施する“子どもたちの声をもっと聞こえる”施策への積極的な参加	-	-	
		子育て支援の活動者の拡大策の展開	-	-	
3	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	防災・防犯講座、危険箇所点検等を通じた防災・防犯意識の向上	-	-	
		各町が実施する防災訓練への積極的な参加	-	-	
		「黄色いリボン」の活動への支援・協力	-	-	
		登下校パトロールの継続的な実施	-	-	
		総代会と連携し監視カメラの設置の推進	-	-	
4	市民ホーム活用策の推進	男性の会の立ち上げ促進	-	-	
		男性の料理教室の開催	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

本宿学区のめざす姿

## みんなで取り組む 明るく楽しいまちづくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	移動手段が確保できる、また身近に参加できる場所がある	高齢者支援	高齢者の見守り訪問活動（年6回） 高齢者にやさしいまちづくり ・総代会、まちづくり協議会との連携強化 ・移動手段が無い等、支援を必要とする人へのフォローを検討	1 2 4
		交流	子育て支援活動「カンナの会」（年8～9回） 世代間交流 ・運動会、盆踊り、夏祭り等 ・後継者の確保、参加者の拡大 子ども食堂（月1回（町内の公民館）） ・市民ホーム等での開催も検討	1 2 3
2	様々な世代への理解が深まり、担い手も参加者も増え、福祉活動が活発になる	健康増進	ふれあい健康クラブ（月2回） ・感染症対策をして実施 ・声かけによる参加促進 ごまんぞく体操 ・週1回、6か所（鶴巣、東、中、大幡、上文、緑町）で実施、他会場での開催を検討 ・対象者に呼びかけ、参加者の増加 グラウンドゴルフ（年3回老人クラブ大会） ・各クラブ活動の支援 ラジオ体操（毎日、他町への拡大を検討）	1 2 3
		修・広・報・会・研	福祉だよりの発行（年4回） Facebookの活用 ・活動事例やイベントの紹介等を随時更新 研修会（年2回）	2 3 4
3	身近な情報が発信され、福祉活動が広がる地域	防災・防犯	災害時避難行動要支援者名簿の整理 ・対象者への具体的な支援方法を検討 防災訓練（学区・全町） 児童の見守り活動 ・北部地域での活動者の拡大を検討 危険箇所の点検（年3回） 黄色いリボンでパトロールの会（毎日） 防犯カメラの設置（必要に応じて要望）	2 4
4	誰もが安心、安全に暮らせる地域			

# 27 奥殿学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	1,949 人	659 世帯	26.7%	16.8%
令和 3 年	1,870 人	660 世帯	27.8%	12.5%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援を必要とする高齢者の把握と支援の充実	支援が必要な時に相談相手になる	-	-	
		移動支援の充実	-	-	
		若い人が学区に残る方法の検討	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	関連団体との情報共有	-	-	
		災害時避難行動要支援者名簿の活用方法の検討	-	-	
		見守り活動、青色パトロールの充実	-	-	
3	学区福祉委員会活動の周知と体制の充実	地域の結びつきの強化	-	-	
		町単位のサロン活動の実施の検討	-	-	
		若い人の支援者を増やしていく	-	-	
4	交通手段の充実	スクールバスの導入検討	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

奥殿学区のめざす姿

## みんなの笑顔をはぐくむ地域づくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	高齢者の移動手段が充実している	サロン	サロン活動（月1回～2回） ・2か所で実施	1 ・ 2 ・ 3
			いきいきクラブ（月1回） ごまんぞく体操（2か所で週1回） ・歩いて行ける範囲（町ごと）での実施検討 ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回）	
2	感染症対策を講じて活動が継続できる	防災・防犯	世代間交流 ・グラウンドゴルフ、ミニバレー、料理教室	2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
			防災訓練（町ごと年1回） ・避難所体験を内容に入れる ・ハザードマップの確認 災害時避難行動要支援者名簿の整理（年2回） 安全パトロール（週4回） 防犯カメラの設置 ・適宜危険箇所を把握し、増設を検討	
3	活動参加者が増えて活動が活発になる	見守り	高齢者の見守り活動 ・独居高齢者を対象に実施	2 ・ 3 ・ 4
4	安心安全な地域になる		登下校の見守り	
5	関係団体と連携し、情報が共有されている	広報・研修	福祉だよりの発行（年2回） ・全戸や老人クラブ会員への配布を検討	2 ・ 3 ・ 5
			研修会（年1回） Facebookの更新 ・季節に合わせて各事業をPR	



# 28 恵田学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	1,089 人	333 世帯	19.1%	14.3%
令和 3 年	994 人	327 世帯	21.3%	10.3%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援が必要な高齢者の把握と支援の充実	地域サロンへの参加の促進	-	-	
		災害時避難行動要支援者の情報共有のあり方の検討	-	-	
		新しい地区のつながりの強化	-	-	
		一人暮らし高齢者の見守り	-	-	
		支援が必要な高齢者の把握と支援内容の検討	-	-	
2	安心して子育てが行える地域づくり	登下校の見守り	-	-	
		世代間交流の行事を継続的に取り組む	-	-	
3	組織間の相互理解を深め、連携して学区の地域福祉を推進する	地区内の人材の確保	-	-	
		民生委員、総代、社教委員、福祉委員などの連携の強化	-	-	
		他学区との交流の促進	-	-	
4	移動支援の充実	移動バスの検討	-	-	
		ボランティアによる送迎の検討	-	-	
		助け合いグループづくり	-	-	
5	災害時の支援体制	災害時の安否確認、要支援者の具体的な支援方法の検討	-	-	
		安心手帳を活用した避難時の内服薬の把握	-	-	
		自助、共助の精神の醸成	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

恵田学区のめざす姿

**誰もが活躍し、皆で助け合う、アットホームなまち  
「恵田学区」**

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	新規活動者が増えて活動が活発になる	高齢者支援	ひとり暮らし高齢者の見守り活動（年2回）	1 ・ 2 ・ 3 ・ 5
			ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回の敬老会）	
2	活動の内容が増え、充実する	高齢者支援	移動手段の検討 ・高齢者同士での助け合い ・乗合タクシーの配備（地域内で運用方法を検討し、事業者に要請） ・地域コミュニティバスの巡回（市へ要望）	1 ・ 2 ・ 3 ・ 5
3	移動手段が確保され、安心して活動に参加できる	交流	いきいきクラブ ・年10回（健康体操・出前講座）の活動実施	1 ・ 2 ・ 7
			サロン活動（月1回、雑談会）	
4	他地域との交流機会が増え、活動が活発になる	交流	世代間交流（年5回） ・グラウンドゴルフ・ソフトミニバレー・ファミリーウォーキング・学区運動会・収穫感謝祭	1 ・ 2 ・ 7
5	安心安全な地域になる	広報・研修	福祉だよりの発行（年2回）	1 ・ 4 ・ 6
			研修会（年1回） 福祉委員会の組織体制の見直し ・役員・委員の体制の見直しを検討 ・部会等の組織体制の見直しを検討 ・福祉活動に興味・関心のある人材の発掘・育成	
6	委員構成を見直し、持続可能な福祉活動に取り組むことができる	防災・防犯	登下校時の見守り（登校日）	1 ・ 2 ・ 5
			災害時避難行動要支援者名簿の整理（年2回）	
7	高齢者が生き生きと活躍できる	防災・防犯	防犯・安全パトロール（月1回）	1 ・ 2 ・ 5
			防災訓練（年1回） ・委員の負担軽減のため、実施方法の見直しを検討	

# 29 細川学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	10,371 人	3,870 世帯	26.0%	18.7%
令和 3 年	10,424 人	4,078 世帯	29.2%	17.3%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	集いの場づくり、公民館や市民ホームを活用しての各種サロンの増設			
		高齢者の支援ニーズを把握するため、「福祉だより」による要望・意見の調査を実施する			
		若い世代へ意識を持ってもらえるよう P R の強化		-	
		年少者との交流を深める行事の促進		-	
2	支援を必要とする子育て世代の把握と支援の充実	関連団体との連携、町の組織の協力の促進		-	
		子どもたちとの話し合いの機会、多世代交流の充実		-	
		母子が常に 1 対 1 にならないよう、ストレスを発散できる場づくり		-	
		子育てが終わった人をサポーターとして確保・把握		-	
3	諸団体との連携による学区福祉委員会活動の強化	諸団体のメンバーの一部に福祉委員になってもらう		-	
		諸団体と一体となった活動の強化		-	
		定期的に楽しめる交流会の実施		-	
		諸団体の行事での学区福祉委員会の P R		-	
4	地域福祉活動の P R	各活動の P R 方法の検討			
		若い人材の発掘と若返り		-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

細川学区のめざす姿

## 「互助」「近助」で支え合い・助け合う細川学区

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	高齢者支援活動 が充実する	見守り	見守り活動（月1回） ・活動者や他団体との協働、範囲、基準、訪問記録の情報活用方法の検討 ほっとステーション（4地区）	4 ・ 6 1 ・ 3 ・
2	地域が見守り、 安心して子育て ができる	サロン	いきいきクラブ（月1回） ・町ごとにリーダーを育成 ・組織体制の見直し サロン活動（月1回公民館で開催） ・市民ホームを通年開放し居場所にする	1 ・ 2 ・ 5
3	オンラインも活 用しながら必要 な情報が行き届 く		ごまんぞく体操 ・学区福祉委員会の協力を検討 子育てサロン（年4回） ・毎月遊びの場を提供	
4	安心安全な地域 になる		世代間交流 ・老人クラブとの連携や幼稚園・小学校との交流、餅つき大会の開催	
5	担い手が確保・ 育成され、安心 して活動が継続 できる	学びの場	研修会（年2回） ・オンラインによる研修の取り入れ ・区民への周知・参加の呼びかけ 傾聴を学ぶ ・聞き取った情報の対応方法や解決のための組織づくりを検討	1 ・ 3 ・ 5 ・ 6
6	S O S に早期に 気づき、地域で 助け合える	広報	福祉だよりの発行（年3回） ・市民ホームの行事についての情報提供 SNS（Facebook）の活用 冊子「地域の福祉」「支え合って生きるしあわせ」の見直し・増刷・配布	3 ・ 5
7	他団体と緊密に 連携が取れる	防災・ 防犯	災害時避難行動要支援者名簿の整理（年2回） ・個人台帳の作成、総代・民生委員・学区福祉委員での情報共有及び活用 防災訓練（町内会中心に年1回開催） ・障がい者も参加できる防災訓練を検討 町籍簿の確認	4 ・ 7

# 30 岩津学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成28年	8,021人	3,079世帯	22.4%	17.9%
令和3年	8,172人	3,324世帯	24.0%	17.0%

資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

## (2) これまでの取組

	第3次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R1	R2
1	高齢者支援のさらなる充実	関連団体との連携強化	-	-	
		地域の人が小規模で集まる場所づくりのサポート	-	-	
		引きこもりがちの高齢者や一人暮らし高齢者、高齢夫婦世帯の把握	-	-	
2	支援を必要とする子育て世帯の把握と支援の充実	関連団体との連携強化、情報共有	-	-	
		人材の発掘	-	-	
		多世代交流の充実	-	-	
3	専門化など、学区福祉委員会の機能の強化	回覧板を回す際などに隣同士で声かけ	-	-	
		外部人事の利用、あて職からの脱却など後任者やリーダーの育成	-	-	
		地区や支援が必要な人の状況に合わせた支援の実施	-	-	
		手当での充実の検討	-	-	
4	移動支援の充実	集いの場への送迎の検討	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

岩津学区のめざす姿

## 声掛けから始まる、思いやりのあるあたたかな地域づくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	担い手が増えて 活動が活発になる	見守り	見守り活動（年4回） 登下校の見守り活動（毎日朝・夕） ・活動者を増やすことを検討	1 ・ 4 ・ 5
			交流	
2	感染対策を講じ、活動が継続できる	子育て支援	子育てサロン（年6回） 赤ちゃん訪問（必要に応じて訪問） 小・中連絡協議会（学期ごと） ・学校と地域（総代・民生委員・福祉委員等の諸団体）との連携・情報共有 子育てサポートイベント（公園の有効活用）	1 ・ 2
3	買い物支援が積極的にできる体制をつくる		助け合い	
4	適切に個人情報 が共有でき、 対象者を把握できる	研修・ 広報	福祉だよりの発行（年4回） ・担当者の発掘・育成 Facebook（学区内の活動や情報を発信） 福祉に関する勉強会（全体会議で勉強会の実施）	1
5	安心安全な地域 になる		防災・ 防犯	

# 31 大樹寺学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	13,292 人	5,638 世帯	25.7%	12.8%
令和 3 年	13,269 人	5,996 世帯	27.0%	12.5%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	集いの場の充実	-	-	
		訪問頻度の検討	-	-	
		対象者の関心のあるテーマの把握	-	-	
2	学区独自の防災・救急体制の構築	災害時避難行動要支援者名簿の活用	-	-	
		関連団体との連携強化	-	-	
3	学区福祉委員会の充実	福祉委員活動の P R	-	-	
		若い人材の発掘、育成	-	-	
		他役員兼務の解消	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

大樹寺学区のめざす姿

## 誰もが笑顔で暮らせる 安心・安全なまちづくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	新規活動者が増えて活動が活発になる	見守り訪問	見守り訪問活動（町ごとで月1回） ・対象者の見直し・訪問頻度の検討	3 ・ 4
			年末激励訪問	
2	歩いて行ける場所にサロンがある	交流	いきいきクラブ（年10回）	1 ・ 2
			子育てサロン（年5回）	
			ごまんぞく体操（町ごとで実施）	
			居場所づくり ・オレンジカフェやお茶飲み会等を検討	
3	情報を把握し適切な支援ができる	広報・研修	福祉だよりの発行（年2回、回覧）	1 ・ 3 ・ 5
			研修会 ・福祉について理解を深める研修会の実施を検討	
			福祉委員の集まる機会づくり ・委員同士の意識の共有	
4	安心安全な地域になる	防災・防犯	災害時避難行動要支援者名簿の整理・活用 ・町ごとで実施 ・総代・民生委員・福祉委員で活用方法の検討	1 ・ 3 ・ 4
			防災訓練 ・災害時避難行動要支援者の参加を呼びかけ	
5	福祉委員会の理解が広がり、一緒に活動する仲間が増える	防災・防犯	登下校の見守り活動（町ごとで実施） ・見守り隊の統一を検討	1 ・ 3 ・ 4
			安全パトロール ・全町が実施できるよう検討	



# 32 大門学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	12,384 人	5,075 世帯	16.5%	16.7%
令和 3 年	12,670 人	5,449 世帯	19.2%	15.8%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援が必要な高齢者の把握と支援の充実	見守り活動の充実（認知症の方、防犯、子ども）	-	-	
		認知症等で行方不明になる可能性のある高齢者の徘徊対応として、見守りボランティアを登録し、発見を早くする	-	-	
		認知症の方のサポート方法を学ぶ	-	-	
		住民同士の相互支援で高齢者の把握	-	-	
		いきいきクラブの拡充	-	-	
2	新たな福祉課題を抱える人の把握と支援の方法について理解	ニートや引きこもりの把握方法の検討	-	-	
		生活保護世帯の見守り、生活課題を抱えている人の相談への対応	-	-	
3	要支援者名簿の活用など、さらなる防災・防犯体制の充実	災害時避難行動要支援者名簿によるマップづくりの拡充	-	-	
		防災マップの町ごとの作成、危険箇所の把握と点検	-	-	
		個人情報の保護を踏まえた情報共有	-	-	
4	支援が必要な人の把握、支援	地域の人が協力した見守りの充実	-	-	
		新規登下校ボランティアの増加	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

大門学区のめざす姿

## 笑顔で楽しくいきいきと 安心安全な地域づくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )	
1	適切に情報が共有できている	見守り	見守り活動（2か月に1回） ・対象者の検討、総代・民生委員との連携強化	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4	
			登下校の見守り ・活動者を10名程度から増加		
2	安心安全な地域になる	見守り	ワンワンパトロール ・お散歩用のひもにステッカーをつける等の周知 ・新規活動者の増加		
			寝たきり高齢者への訪問（老人クラブ中心に年2回） ・90歳以上の高齢者を対象		
3	活動者が増えて活動が活発になる	サロン	いきいきクラブ（月2回） ・参加者を増やすため周知	1 ・ 2 ・ 3	
			子育てサロン（月1回） ・サロン活動（全町での実施、町ごとに年2回） ・担い手の発掘		
4	充実した活動ができる	広報・啓発	ごまんぞく体操（全町での実施、週1回） ・担い手の発掘		
			世代間交流（小学校・幼稚園との交流）		
5	ごみの分別が周知でき、気持ちよくごみステーションが利用できる	防災・防犯	福祉だよりの発行（年1回） ・各行事の写真を掲載	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5	
			SNSの活用（Facebook等） ・若い人への情報発信のため、活用を検討		
			災害時避難行動要支援者名簿の整理（年2回） ・地域支援者の選定、名簿の活用方法の検討 ・名簿未登録で支援を必要とする人の発掘・整理 ・総代会、民生委員児童委員協議会、福祉委員会と連携協議		1 ・ 2 ・ 3 ・ 4
			防災訓練（町ごとに年1回）		
			安全パトロール（週6回、2台出動） ・ユニフォームの作成等を検討		

# 33 矢作東学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	12,494 人	5,098 世帯	21.8%	13.3%
令和 3 年	12,765 人	5,526 世帯	23.9%	13.2%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	見守り活動の充実のため、見守り支援者と訪問回数の増加	-	-	
		サロン活動の充実	-	-	
		高齢者の方を会場に移動するための手段の充実	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	高齢者も参加した防災訓練の充実	-	-	
		災害時の避難経路の確保	-	-	
		防災・防犯に関する勉強会の開催	-	-	
		学区内の危険箇所をマップに記入して共有	-	-	
3	福祉委員の若返りなど、学区福祉委員会の体制強化	福祉活動の若者たちへの P R	-	-	
		高齢者と若い人の意見交換会を行い、考え方を共有する	-	-	
		関係団体との連携強化	-	-	
		若い人材の発掘、育成	-	-	
4	子育て支援の充実	幼児とのふれあい活動の充実	-	-	
		未就学児の子育て支援の充実	-	-	
		小学生の放課後の居場所づくりの検討	-	-	
5	福祉委員活動の充実	活動資金の確保	-	-	
		ボランティア活動の充実	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

矢作東学区のめざす姿

**思いやりの心で、安全で安心して、生き生きと暮らせる  
街を築こう！！**

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	学区内の様々な地域から参加できる	見守り	登下校の見守り活動（週2回） ・老人クラブやSSVによる活動	5
			友愛訪問（年4回） ・民生委員と総代による活動	
2	若い人の参加が増え活動が活発になる	広報・研修	福祉だよりの発行（年4回） 研修会 ・福祉委員を対象にした研修会を年2～3回実施 ・学区民を対象にした研修会を年2回実施	3・4 1・2
			サロン活動（学区で年1回、町ごとに年2回） ・集まりやすい場所でのサロンを増加 ごまんぞく体操（各町で実施） いきいきクラブ（年12回）	
3	若い人も一緒に地域づくりができる	交流	ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回） 子育てサロン ・パンピの会（未就園児）を年2回実施 ・ホットタイム（乳児）を年9回実施 世代間交流（年3回）	2・3・4
			子ども食堂（年12回） ・食堂や食料配布等、状況に応じて活動	
4	子どもだけでなく若い人にも伝承し、次の世代に活動をつなげることができる	移動手段の確保	活動場所への送迎 ・企業の社会貢献活動の活用を検討	1
5	安心安全な地域になる	防災・防犯	救急医療情報キットの確認（年4回） ・友愛訪問に合わせて実施 災害時避難行動要支援者名簿の整理 ・各長の組長や評議員と情報を共有	2・3・5・6
			防災訓練 ・学区で年1回、全町で町ごとに年1回実施 安全パトロール（月10回） 防犯パトロール ・散歩などをしながらの“ながら散歩”を実施 ・年末年始は期間を決めて実施 防犯カメラの設置（必要箇所を確認し、適宜増設） あいさつ運動	
6	隣近所であいさつや声かけができる地域になる			

# 34 矢作北学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	13,134 人	5,265 世帯	16.6%	16.1%
令和 3 年	13,578 人	5,810 世帯	19.0%	15.3%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援を必要とする世帯の把握と子育て支援の充実	関連団体との連携強化	-	-	
		要支援者の隣近所への指導の強化	-	-	
		支援を受ける側への説明の充実	-	-	
		子育て支援バンビの会の P R	-	-	
		若者世帯が増えている地区での子育て支援の充実	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	町内・地域内の危険箇所の調査と開示	-	-	
		防災隊組織の固定化及び若返り	-	-	
		町単位・学区単位での防犯・防災体制の強化	-	-	
		役割分担の明確化	-	-	
		防犯設備の充実	-	-	
3	学区福祉委員会の機能の強化	町単位での福祉活動の体制づくり	-	-	
		福祉委員の構成メンバーの見直し	-	-	
		福祉委員会の仕組み・役割の勉強会の実施	-	-	
		手当てや交通費等の検討	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

矢作北学区のめざす姿

## おもいやりあふれる あたたかな地域 矢作北学区

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	ひとり暮らし高齢者等、支援を必要とする人の状況を把握している	見守り	見守り活動（年3回）	1 ・ 4
			登下校の見守り活動（毎日） ・担い手の増加を検討	
2	安心して活動に参加できる	交流	子育てサロン（年3回）	1 ・ 2 ・ 3
			男の料理教室（年1回から年2回へ） ・参加者の増加	
夏祭り（年1回）				
グラウンドゴルフ大会（年2回） ・参加者の増加、学区福祉委員会として協力				
3	多世代がより交流している	介護予防体操	いきいきクラブ（月2回） ・学区福祉委員会として協力	1 ・ 2
			ごまんぞく体操（週1回、1か所） ・歩いて行ける場所の確保、全町での均一な実施	
4	安心安全な地域になる	広報・研修	研修会（年1回から年2回へ）	2
			福祉だよりの発行（年2回） ・役員や委員へ配布し、活動内容を共有 ・学区全体へ回覧し、情報発信	
4	安心安全な地域になる	防災・防犯	災害時避難行動要支援者名簿の整理（年2回）	3 ・ 4
			防災訓練（年1回） ・内容の見直し	
			安全パトロール（毎日） ・担い手の増加を検討	
			清掃活動（年1回）	
			花壇づくりと管理（毎月）	

# 35 矢作西学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	6,514 人	2,654 世帯	21.4%	14.4%
令和 3 年	6,428 人	2,820 世帯	24.1%	12.5%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	サロンの参加者の増加	-	-	
		移動支援の充実	-	-	
		買い物支援の一環として、移動販売の検討	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	青パト、安全パトロールの充実	-	-	
		災害時の組織づくり	-	-	
		道路の危険箇所の把握	-	-	
		自動車道と自転車道の識別	-	-	
		子どもの通学路の徹底	-	-	
3	学区の活動への若い参加者の増加	活動への参加の呼びかけ	-	-	
4	福祉委員活動の充実	関係団体との連携強化	-	-	
		訪問者の基準の見直し	-	-	
		福祉とボランティアのあり方の検討	-	-	
		「向こう三軒両隣」の推進	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

矢作西学区のめざす姿

## いつまでも安心して暮らせる地域 矢作西学区

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	高齢者が積極的に活動に参加できる	見守り	見守り活動（年6回） ・福祉委員・民生委員・老人クラブがそれぞれ実施 登下校の見守り（毎日） ・PTAは朝、青色防犯パトロールは下校時中心 ・団体相互の協力体制について検討	3 ・ 4 ・ 5
2	参加者層が広がり、様々な活動ができる	サロン	いきいきクラブ ・年10回実施（1月・8月は休み） ・広い会場への変更を検討 子育てサロン（ペンギンクラブ）（月1回） ・あそびりテーション 世代間交流（年2回） めだかクラブ（月2回） ・パソコン教室	1 ・ 2 ・ 6
3	情報を把握し、支援ができる	移動支援・買い物	移動販売（週2回、拠点は市営住宅） あんくるバス ・増加している利用者数に応じた活用 デマンド型乗り合いタクシー	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4
4	つながりが強固になり支え合い・助け合いができる	広報・研修	福祉だよりの発行（年3回） ・電子掲示版への移行を検討 研修会（年2回） ・福祉委員の研修1回・出前講座1回 電子掲示版の設置 ・学区情報・老人会の情報等	1 ・ 2 ・ 6
5	安心安全な地域になる	防災・防犯	災害時避難行動要支援者名簿の整理（年1回） 防災研修会 ・レディースネットワークでは年2回実施 防災訓練（年1回） 安全防犯パトロール（随時） ふれあい花壇（老人クラブが月2回） 清掃活動（町ごとで春・秋の年2回）	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4 ・ 5
6	組織体制が強化され、若い人も一緒に地域づくりができる			



# 36 矢作南学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	14,991 人	5,978 世帯	20.9%	14.9%
令和 3 年	14,990 人	6,415 世帯	22.9%	13.6%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	要支援世帯の把握と支援の充実	小地域サロンの交流活動の奨励・支援		-	
		企画の工夫による参加しやすい場づくり		-	
		弱者に手を差し伸べる取組の継続・充実		-	
		救急医療情報キットの配布対象者の拡大		-	
2	安心して暮らせる地域づくり	多世代交流が図れる活動の工夫		-	
		学区住民組織との相互連携の強化		-	
		住民の理解・協力・参加を得る啓発活動の充実		-	
		災害時避難行動要支援者制度の周知・見守り		-	
3	学区福祉委員会活動の強化と P R	福祉委員会活動や福祉サービスを住民に知らせる広報活動の工夫		-	
		参加者の増加に向けた参加型事業の周知方法の工夫		-	
		高齢者や子どもが関わる組織・施設との連携強化		-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

矢作南学区のめざす姿

## 地域でつなぐ福祉の“わ”（話・和・輪） 安心して心豊かに支え合うまち 矢作南学区

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	交流する機会が増え、活動が充実する	見守り	見守り活動（年2回） ・ こんにちは訪問・友愛訪問	3 ・ 4
			登下校の見守り（町ごと） ・ ボランティアで年9回活動（一斉下校時）	
2	移動手段が確保できる、身近に参加できる場所がある	子育て支援	子育てサロン「ペンギンクラブ」（年6回）	1 ・ 6
			ふれあい昼食会（年1回） ・ 町ごとでひとり親会として実施を検討 ・ 会場の再考や送迎ボランティアの検討	
3	安心安全な地域になる	交流	世代間交流 ・ ファミリー歩け歩け大会（年1回） ・ もちつき大会（年1回） ・ こども祭りに参加	1 ・ 2 ・ 4 ・ 6
			小地域ふれあいサロン（11か所、年2～12回）の拡大 いきいきクラブ（年11回）	
4	担い手が増え、活動が活発になる	防犯・防災	夜間防犯パトロール（年4回） 防災訓練（町ごと） ・ 5年に1回は学区全体で実施	3
			災害時避難行動要支援者に対する支援方法の検討 ・ 災害時避難行動要支援者名簿の整理 ・ 組長や班長、隣近所と連携し、支援体制を充実	
5	適切に情報が発信され共有されている	防犯・防災	救急医療情報キットの作成 清掃活動 声かけ運動	3
6	感染症対策をした活動ができる	広報・研修	研修見学会（年1回） 福祉講座（年2回） ・ 開催方法の検討	2 ・ 4 ・ 5 ・ 6
			福祉だよりの発行（年3回） ・ 医療機関等、配架先の検討 Facebookの活用	

# 37 北野学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	10,842 人	4,831 世帯	14.2%	14.6%
令和 3 年	10,530 人	4,923 世帯	18.3%	13.1%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援を必要とする世帯の把握と子育て支援の充実	サロン活動の充実、近隣の集まりやすい場所での開催（安否確認も兼ねる）	-	-	
		趣味の団体を増やし、集まる機会を増やす	-	-	
		災害時避難行動要支援者制度の周知	-		
		助成金の柔軟な活用	-	-	
		子どもが生まれた世帯の把握と祝い金の検討	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	若い世代と継続的に繋がる仕組みづくり	-		
		世話役の確保	-	-	
3	関係機関との連携による学区における地域福祉の推進	福祉委員会の P R の工夫と充実	-		
		次代を担う人材の育成	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

北野学区のめざす姿

**みんなが挨拶をし 地域活動に積極的に参加する 北野学区**

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	安心安全な地域 になる	見守り・訪問	ひとり暮らし訪問（月1回） ・対象者の範囲・把握方法・支援者の検討	1
			赤ちゃん訪問 登下校の見守り（毎日） ・青色防犯パトロールとの連携 ・こども110番の旗の充実 ・後継者の育成	
2	福祉に対する理 解が深まり、意 欲的に活動でき る	世代間交流	ふれあい交流会（未就園児と高齢者との交流） ・既存の活動同士での連携を検討	2
			子ども会活動の協力 ・夏祭りのみこしの見守り ・球技大会の応援 ・老人クラブとの連携 フリーマーケット（野菜販売） いちごばあちゃんの稲作体験（農作業・昔遊びの継承）	
3	地域の移動手段 が確保され、誰 もが安心して移 動できる	サロン	子育てサロン（パンビの会） そばうちサロン 個人宅でのサロン活動（後継者を育成） いきいきクラブ（内容や開催回数の検討） ごまんぞく体操（開催場所の増設検討） 編み物教室 サロン活動 ・モデルとして実施し、他町への展開を検討	2
			防犯・防災	
4	ごみ捨てに関し て適切な場所・ 時間帯・分別方 法の周知がなさ れ、気持ちよい 環境になる	広報・研 修	福祉だよりの発行（年3回） 研修会（年2回） SNSの活用（Facebook・LINEの導入検討）	4
			高 齢 者 世 帯 の 生 活 支 援	

# 38 六ツ美北部学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	11,846 人	4,752 世帯	15.1%	16.3%
令和 3 年	12,097 人	5,180 世帯	18.0%	14.9%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	福祉の対象から外れている人・高齢夫婦のみ世帯などの対象化の検討	-	-	
		井戸端会議などの小規模での学区活動の検討	-	-	
		高齢者が参加しやすいよう、学区から町内行事への実施方法の検討	-	-	
		高齢者の意見を踏まえた支援の実施	-	-	
2	安心して子育てが行える地域づくり	出産・子育て支援施設の充実	-	-	
		登下校時の見守り方法の工夫と充実	-	-	
		子どもの家の活用と学校関係との協力強化	-	-	
3	学区福祉委員会活動の強化	福祉委員会としての活動を学区単位でなく、各町の福祉委員会としての活動の検討	-	-	
		「見たい」会報の充実とホームページ作成者の育成	-	-	
		福祉委員会の P R ・周知方法の検討	-	-	
4	移動支援の充実	巡回バスの導入検討	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

六ツ美北部学区のめざす姿

## みんながいつまでも元気に暮らせるまちづくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	様々な場所で活動が行われている	見守り	見守り活動 ・独居高齢者、災害時避難行動要支援者を対象に実施 ・実施する人や実施方法、活動内容を再検討	3
			ふれあいの会（町ごとに年1回）	
2	新規活動者が増えて活動が活発になる	サロン	六北タンポポの会（年3回）	1・2
			六北いきいき大楽校（月1回） ・高齢者を対象に実施	
			ふれあいトークの会（年2回） ・土井住宅・市民ホームにおいて70歳以上の独居高齢者を対象に食事会を実施、拡大も検討	
3	安心安全な地域になる	広報・啓発	六北地域だより（福祉委員会・社会教育委員会・総代会）	2・3

# 39 六ツ美中部学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	5,386 人	1,825 世帯	26.5%	13.8%
令和 3 年	5,362 人	1,940 世帯	28.3%	13.0%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	歩いて行ける範囲の小地域でのサロン開催	-	-	
		各町サロン担当者間での意見交換	-	-	
		他のサロン活動の見学実施	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	総代と連携した防災活動の充実	-	-	
		隣近所とのコミュニケーション強化	-	-	
		児童登下校の見守りの継続実施	-	-	
3	学区福祉委員会の体制の強化	関連団体との連携の強化・役割の分担	-	-	
4	多世代交流の充実	多世代が気軽に集まれる環境づくり	-	-	
		関連団体同士が連携した集いの開催	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

六ツ美中部学区のめざす姿

## 気軽に集い 気楽に話せる 関係づくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	新規参加者が増えて活動が活発になる	見守り	訪問見守り活動（月1回） ・福祉委員・老人クラブ・民生委員で連携	1 ・ 3
			登下校の見守り ・民生委員中心に登校時の活動を実施 ・活動者が増えるよう働きかけ	
		サロン	サロン活動（町ごとに年3～10回） ・実施頻度増加を検討	1
			いきいきクラブ（月1回） 子育てサロン（年9回） ・民生委員中心に活動	
2	他団体と緊密に連携が取れる	交流	世代間交流（年2回） ・子ども祭りの実施 ・老人クラブとして昔遊びを一緒に実践	1 ・ 2
			学区運動会（年1回） コスモス祭り（年1回） ・碧の会主催、PTAが実施 ・今後福祉委員会として協働できるよう検討	
		広報・研修	福祉だよりの発行（年2回） ・パソコンを得意とする人材を募集	1 ・ 2
			研修会（年2回） ・諸団体と合同で実施 意見交換会（随時） ・福祉委員役員の交流	
3	安心安全な地域になる	防災・防犯	災害時避難行動要支援者名簿の整理（年2回） ・総代・民生委員・福祉委員が名簿登録者の訪問 ・登録内容（新規・変更・廃止等）の確認	2 ・ 3
			防災訓練（町ごとに年2回定期的実施） 清掃活動（各町での実施）	



# 40 六ツ美南部学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	11,328 人	4,286 世帯	16.7%	15.0%
令和 3 年	11,347 人	4,552 世帯	20.7%	13.9%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	福祉に関する P R の実施		-	
		高齢者が参加しやすいように、小地域でのサロンの実施			
		一人暮らしの方のサポート支援		-	
		買い物難民の解消のため、巡回バス導入の検討		-	
2	新たな福祉課題を抱える人（ニート・引きこもり・生活困窮など）の把握と支援の方法について理解	中学生の引きこもりの対応として第三者が話を聞く、相談できる体制づくり			
		地域が協力して長い目で見守っていく		-	
		公的機関につなげる		-	
3	活動の周知など、学区福祉委員会の認知度向上	活動の P R の工夫		-	
		研修会の開催など新しい取組の実施		-	
4	福祉委員活動の充実	担い手不足であるため、若い人材の発掘・育成			
		他の学区の情報の把握		-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

六ツ美南部学区のめざす姿

## 挨拶・声掛けで、明るく・思いやりのある地域づくり

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	担い手が増え、 安心して活動が 継続できる	高齢者 支援	見守り訪問活動 ・各種団体との連携拡大 ・激励訪問（年6回） ・友愛訪問（年1回） ・対象者の拡大、活動内容の検討	3 ・ 4
			移動手段の検討 ・ひとり暮らし高齢者のサポート支援の検討 ・巡回バス導入の検討	
2	各団体の役割が 把握でき、緊密 に連携がとれる	交流	高齢者のニーズ把握 ・アンケートの実施検討	3
			地域単位での交流活動 ・サロン活動（月3回） ・ごまんぞく体操（週1回、8か所） ・いきいき教室（月1回） ・茶話会（年1回） ・悠悠クラブ（月1回） ・子育てサロン（年6回） ・声かけを強化し、参加者の増加に努める	
3	住民同士の交流 機会が増え、地 域が活性化する		世代間交流 ・グラウンドゴルフ ・夏祭り ・秋のウォーキング ・六南小4年生との交流イベント	
4	移動手段が充実 している	防災・ 防犯	各種団体との連携 ・防災訓練（年1回） ・安全パトロール・青色パトロール（各町） ・清掃活動（各町）	2 ・ 3
			登下校の見守り活動（月1回） ・活動頻度の検討	
5	誰もが活動内容 を知っている	広報研 修	SNSの活用 ・Facebookの更新 ・公式LINEアカウントの活用	5
			研修会 健康講座	
5	誰もが活動内容 を知っている	人材育 成・ 発掘	福祉活動における人材育成 ・幅広い世代の人材発掘	1
			福祉委員会組織の強化 ・女性委員、役員の増加検討 ・各町幹事の役割の強化検討	

# 41 六ツ美西部学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	11,652 人	4,537 世帯	15.5%	16.5%
令和 3 年	11,847 人	4,894 世帯	18.0%	15.3%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援を必要とする高齢者の把握と支援の充実	要支援者と支援する人の明確化			
		条件を設定せず、本当に見守る必要のある人を把握し、支援につなげる			
2	安心して子育てが行える地域づくり	安心・安全な場所と人の提供		-	
		登下校の見守り活動の組織づくり（PTA、子ども会との連携）			
3	新たな担い手の確保など、学区福祉委員会の強化	計画的な人材の確保		-	
		福祉委員の行う活動の明確化		-	
		学区福祉委員会の役員の任期の検討		-	
		福祉に関する勉強会の実施			
		同じような活動内容の統一化		-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

六ツ美西部学区のめざす姿

## みんなで支え合い・助け合う 安心・安全なまち 六ツ美西部学区

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取ること	関連する No.( )
1	新規活動者が増えて活動が活発になる	見守り	見守り活動（年10回） ・75歳以上のひとり暮らし高齢者、高齢者世帯を対象に実施、見守りを必要とする人の洗い出し ・内容や支援者の負担軽減を検討 ・ひとり暮らし高齢者・高齢者世帯のリスト化、福祉委員・民生委員での共有や連絡先の明確化 登下校時の見守り（朝に加え夕方も実施）	4
			健康・体操	
2	活動の内容が増え、充実する	交流	世代間交流（昔遊び・バケツ稲作・稲刈り） パソコンクラブ（小学生対象に年12回） 読み聞かせ（年24回） 子育てサロン（主任児童委員中心に年5回） いきいきクラブ（年11回） ・老人クラブの参加、作品展（リブラ） 70歳以上のひとり暮らし高齢者との食事会 ・各町で年1回、予算の見直し検討	1・2
			広報・研修	
3	情報を把握し、共有できる	防災・防犯	防災訓練（各町で年1回） ・地震や水害等、自分ごととして捉えられる内容を検討 安全パトロール（毎日） 清掃活動（各町で年3回） 災害時避難行動要支援者名簿の整理 ・字別に支援できるよう整理 ・SOSを自ら発信できる方法を検討 個別台帳の作成（町や総代中心で実施）	1・2・4
			4	

# 42 豊富学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	4,337 人	1,437 世帯	27.4 %	13.2 %
令和 3 年	4,069 人	1,506 世帯	32.3 %	11.7 %

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援が必要な高齢者の把握と支援の充実	新規転入者も含めた高齢者の現状把握		-	
		正確な情報の一元化と支援者間の共有		-	
		高齢者、地域、見守りなど支援者間の関係づくり		-	
2	支援を必要とする世帯の把握と子育て支援の充実	支援センターなど交流の場の活用		-	
		民生児童委員による身近な相談機会の充実		-	
		多世代にわたる子育て支援の機会		-	
3	若い世代の学区福祉委員会への加入促進	若い世代や子どもがいる親世代にも関心が持てる行事の計画		-	
		福祉委員の定年制導入や任期の設定による委員の若返りの検討			
4	福祉委員会の活動内容の P R が必要	総代会、社教委員会等を通して P R		-	
		行事、講演を行う時に、住民に周知する		-	
		広報誌を活用した P R		-	
5	活動の指導者、予算、情報のネットワークづくりが必要	他の学区の行っている行事の把握		-	
6	活動への参加手段（交通手段）が不十分である	マイカーの相乗りを行うなどを検討		-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

豊富学区のめざす姿

## 隣近所を気遣い地域みんなで支え合う きずなたくさん 豊富学区

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	若い世代にも理解が広まり、安心して活動を継続できる	見守り	見守り活動（月1回の訪問活動） ・訪問せずとも自宅等からの見守りを意識づけ	4
			子どもの見守り（毎日登下校時） ・夜間のパトロール（夏休み期間中）	
2	若い参加者も増え様々な活動ができる	介護予防・ 体操	いきいきクラブ（月1回、6か所）	1・4
			ごまんぞく体操（週1回、5か所）	
3	適切に情報が共有できている	交流	サロン活動 世代間交流（年3回） ・保育園・小学校・中学校との交流 ・餅つき大会・田植え・稲刈り・草刈り・昔遊び	1・2・4
			いきいき交流会（5月・11月の年2回） ・参加していない人に対する呼びかけ ボランティア入門講座 ・若い世代の参加促進へ向けた声かけ	
4	見守る人が増え、高齢になっても安心して過ごすことができる	広報・研修	子育てサロン ・社協額田支所と連携 ・玩具道具の運搬・保管場所の確保 参加者送迎の検討	1・3
			研修会（年1～2回） ・市や社協等の研修に積極的に参加 福祉だより「手つなぎ」の発行（年2回） 福祉委員会のチラシ作成 周知方法の検討 ・防災無線に替わる情報伝達のための方法（スマートフォンやLINE、電話、FAX等）を検討	
4	見守る人が増え、高齢になっても安心して過ごすことができる	防災・防犯	災害時避難行動要支援者名簿の整理	3・4
			防災訓練（年1回） 安全パトロール ・総代・民生委員・福祉委員で実施 ・散歩している人も気づいたら気軽に連絡できる仕組みづくり ・子どもの見守り活動の実施	

# 43 夏山学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	730 人	301 世帯	39.9%	8.8%
令和 3 年	683 人	324 世帯	47.6%	7.0%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者（特に男性）の社会参加の促進	現在実施している活動間の連携	-	-	
		福祉委員会の世代交流会の充実	-	-	
		見守り訪問の実施方法の検討	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	災害時に支援を必要とする方を日頃の近所づきあいで把握し、より実効性のある防災体制確立のために関係者と協議を行う	-	-	
		子どもの登下校の見守り隊を全ての地区で実施	-	-	
		子どもに通学路の危険箇所について周知	-	-	
3	新たな担い手の確保など、学区福祉委員会の体制強化	担い手の報酬制や有償ボランティアの検討	-	-	
		福祉委員の新たな人材の確保	-	-	
4	夏山小学校の存続	学校施設の有効活用	-	-	
5	高齢化率第 2 位	高齢者支援の充実	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

夏山学区のめざす姿

## 子どもやお年寄り、若者も安心・安全に暮らせる地域づくり

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取ること	関連する No.( )
1	担い手が増えて 活動が活発になる	防災	災害時避難行動要支援者名簿の整理（年1回） ・団体間で要支援者の情報共有を行う機会を設置 ----- 小単位での防災訓練（年1回集落ごとに実施） ・地形に応じた災害時の対応方法等を確認・検討	1
		見守り	高齢者の見守り活動（年4回） ・感染症対策を講じながら、ひとり暮らしの人に対する訪問を実施 ----- 登下校の見守り（毎日） ・PTAだけでなく多世代で見守る体制を構築 ・危険箇所の把握 ・自宅付近での“ながら見守り”の実施	
2	学区福祉委員会の理解が深まり、組織力が向上する	広報	福祉だより（年2回） ・移動スーパーやサロン活動の周知 ・認知度向上や活動参加者の増加	1・2
		サロン	子育てサロン（年5～6回） ・実施回数の増加を検討 ----- ミニデイサービス（月1回、4か所） ----- ごまんぞく体操（週1回） ・参加者の健康維持、交流の場として継続	
3	感染症対策を講じた活動を行う	交流	世代間交流会（年2回） ・ホタル鑑賞会・鮎つかみ大会・グラウンドゴルフ等 ・老人クラブとの連携 ----- 高齢者との食事会（年1回） ・バスを活用した研修会等の実施 ----- 小学校、公民館の清掃活動（年4回） ・老人クラブとの連携 ----- 盆踊り（年1回） ・各種団体（総代会・PTA・社会教育委員会等）と連携し、学校施設を活用 ・学区福祉委員会も企画・運営の一部を担う	1・3



# 44 宮崎学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	1,255 人	507 世帯	41.6%	6.6%
令和 3 年	1,104 人	501 世帯	47.1%	5.9%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	高齢者支援のさらなる充実	移動支援の充実	-	-	
		高齢者の身近な困り事・不安について、若い世代も含めた周囲の人に伝え、話し合う	-	-	
		歩いていける範囲の小地域での集いの場の充実	-	-	
		隣近所とのコミュニケーションの充実	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	関連団体との連携強化	-	-	
		災害時避難行動要支援者の支援体制の強化	-	-	
		防災マップの充実	-	-	
		高齢者同士の助け合いの体制づくり	-	-	
3	他団体と連携など、学区福祉委員会活動の強化	「お節介なおばさん」の増加	-	-	
		老人クラブによる見守り隊の周知	-	-	
		福祉イベントの充実	-	-	
		関連団体との連携強化	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

宮崎学区のめざす姿

## 笑顔で楽しく暮らせる地域づくり 宮崎学区

<理想の地域像と、そのための具体的な活動>

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	各団体が適切に 役割分担を行い 連携できる	見守り・ 支援	見守り活動（年2回） ・フォロー体制の構築（組長・新聞配達員との連携） ・民生委員の周知 ・困った際の連絡手段のルール化 ----- ひとり暮らし高齢者世帯の訪問（適宜） ----- 困りごと請負活動（ワンコイン活動） ----- お助け隊（各町） ・石原：年6回、大雨河・千万町：不定期	1 ・ 2
2	移動手段が確保 され、安心して 外出できる	交流	ひとり暮らし高齢者との食事会（老人クラブで年1回） ----- 世代間交流（小学校で年4回） ----- 敬老会と学区運動会（社会教育委員会主体で年1回） ----- サロン活動（月1回）	1 ・ 3
3	参加者が増えて 活動が活発にな る	防犯・ 清掃	交通安全週間の啓発活動（年4回） ----- 声かけ、パトロール（月5回） ----- 防犯カメラの設置（必要に応じて増設） ----- 清掃活動（草刈り等、年2回） ----- 学区外のサイクリストと協働でごみ拾い ・宮崎まちづくり協議会と学区福祉委員会が連携	1
4	活動環境が整い 活動しやすくな る	防災	防災訓練（年1回） ----- 災害時避難行動要支援者名簿の整理 ----- 消防団夜警（年2回） ----- 民生委員との情報共有 ・役割や支援内容の明確化 ----- 避難所の確認（適宜）	1 ・ 3 ・ 4
5	転入する若い世 代が多くなって いる	体 操・ 介 護	命の貯蓄体操（週1回） ----- JAあさひの会（ミニデイサービス、月1回） ----- ごまんぞく体操（週1回） ・全地区での実施をめざす	3
		子 育 て 支 援	登下校の見守り（毎日） ----- 子育てサロン（年3回） ----- 自然体験事業 ・宮崎保育園・宮崎まちづくり協議会と協働	1 ・ 5
		広 報 ・ 研 修	広報「きずな」の発行（年2回） ----- 研修・講演会（2年に1回） ・「ふくまど」と連携し、講座等の開催を検討	1

# 45 形埜学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	1,354 人	446 世帯	36.0%	10.6%
令和 3 年	1,233 人	470 世帯	40.1%	9.1%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援が必要な高齢者の把握と支援の充実	関連団体による情報収集と更新、共有	-	-	
		隣近所とのコミュニケーションを図る	-	-	
		地区の福祉活動への関心を高める	-	-	
2	支援を必要とする世帯の把握と子育て支援の充実	園庭の解放など、保育園の有効活用の検討	-	-	
		夏休みの見守り体制の強化	-	-	
3	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	地区の防災訓練への参加促進	-	-	
		町内、通学路にある危険箇所の把握	-	-	
		防犯設備等の充実	-	-	
4	福祉委員活動の充実	各地区に委員会の設置	-	-	
		参加者の増加	-	-	
		福祉委員活動の P R の強化	-	-	
5	移動支援の充実	移動バスの検討	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

形埜学区のめざす姿

## 誰もが住みたい 魅力あるまち

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	活動の回数や参加者、担い手が増えて活発になる	見守り	登下校の見守り（登校日は毎日） ・見守り隊の後継者の確保 ・自宅付近での見守りや同行	1 ・ 2 ・ 3
			高齢者を見守り活動（年6回） ・対象者：75歳以上のひとり暮らし高齢者	
2	地域全体を把握できる	交流	世代間交流 ・保育園・小学校・子ども会（3回） ・親睦会・3世代交流・ウッドカーリング	1 ・ 2 ・ 3
			ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回） ・男性にも参加してもらえよう声かけ あさひの会デイ（月1回、2か所） サロン活動（月1回、3か所） 子育てサロン（月1回） おしゃべりサロン（月1回） ・交流への参加を必要とする人の早期発見、活動の参加につなげる声かけ	
3	誰もが住みたいまちになる	防災	防災訓練（各地区で年1回） ・市の訓練は5年に1回 ・消防団と協力して実施	1 ・ 2 ・ 3 ・ 4
			災害時避難行動要支援者名簿の活用 ・総代会長は学区全体、町総代は各町、民生委員は担当地区の名簿をそれぞれ持ち対応	
4	避難場所が確保され安心して暮らすことができる	広報	福祉だよりの発行（年3回） ・小学校と連携	1 ・ 2 ・ 3
			福祉マップの更新（2年に1回）	
		福祉について学ぶ場	福祉講演会（年1回） ・予算と相談しながら企画、対面で開催 研修会（年1回）	3

# 46 下山学区



## (1) 学区の概況

	人口	世帯数	高齢化率	年少人口割合
平成 28 年	645 人	247 世帯	38.0%	7.4%
令和 3 年	618 人	281 世帯	44.0%	6.6%

資料：住民基本台帳（各年 4 月 1 日現在）

## (2) これまでの取組

	第 3 次計画における課題	取り組むこと	学区の評価		
			H30	R 1	R 2
1	支援が必要な高齢者の把握と支援の充実	関連団体、隣近所と連携した一人暮らし世帯の把握	-	-	
		見守り訪問の実施	-	-	
		移動支援の充実	-	-	
		サロン活動の充実	-	-	
2	誰もが安心して暮らせる、防犯・防災体制の強化	安全・安心な道路整備	-	-	
		道路の草刈り、防犯灯の増設、防犯カメラの設置・増設の安全対策の実施	-	-	
3	学区福祉委員会活動の推進とPR強化	女性委員の増加	-	-	
		福祉委員会のPRの強化	-	-	
		活動資金の確保	-	-	

### (3) 今期の計画（令和4年度～令和8年度）

下山学区のめざす姿

## 互いに協力し合い 世代を超えた地域活動がさかんなまち 下山

< 理想の地域像と、そのための具体的な活動 >

No. ( )	理想の地域像	活動	令和8年度までに、 理想の地域像の実現に向けて具体的に取り組むこと	関連する No.( )
1	指導者が確保されて活動が活発になる	移動支援	リフトカーボランティア（月1回）	3 ・ 5
2	世代間交流が充実し世代を超えて顔見知りが増える	交流	ひとり暮らし高齢者との食事会（年1回、1か所） サロン活動（月1回） ・3か所（保久・一色・外山）で実施 いきいきクラブ（月1回、3か所） 世代間交流（年2回） ・小学校の行事に合わせて実施	1 ・ 2 ・ 5
3	リフトカー運転手が確保される	防災	防災訓練（年1回） 災害時避難行動要支援者名簿の整理（年1回） ・マップの作成	5
4	通学路が整備され、学区民が安心して通行することができる	広報・研修	福祉だよりの発行（年4回） ・下山小学校の山桜に掲載、小学校との連携 研修会（年1回） ・福祉に関連する施設等の視察研修の実施	2 ・ 3 ・ 5
5	支援が必要な人を把握し、誰一人取りこぼさず見守ることができる	見守り	高齢者の見守り活動（年4回） ・対象者宅の訪問 登下校の見守り（年3回） ・交通安全週間に合わせて実施	4 ・ 5
		防犯	防犯灯の整備 清掃活動（年1回） ・通学路の草刈り	4

---

---

## 第4次岡崎市地域福祉計画

### - 実践編 -

発行 : 岡崎市 / 社会福祉法人 岡崎市社会福祉協議会

編集 : 岡崎市 福祉部 ふくし相談課

〒444-8601

愛知県岡崎市十王町2丁目9番地

電話 0564-23-6774

社会福祉法人 岡崎市社会福祉協議会

〒444-0802

愛知県岡崎市美合町五本松68番地12

社会福祉センター3階

電話 0564-47-8751

発行年月 : 令和4年3月

---

---